

Sea Ray 410 Sundancer

全長 12.65m 全幅 3.96m 乾燥質量 10,761kg 燃料容量 961L
清水容量 227L 定員12名 航行区域 沿岸区域 最高出力 473hp×2
搭載エンジン カミンズ VD-QSB 6.7 480 DTS×2

¥108,000,000 (税込)

※金額は試乗艇価格です。オプション等の詳細はお問合せ下さい。



NEW MODEL IMPRESSION SeaRay 410 SUNDANCER



410サンダンサーの走りは非常に滑らかなのが特徴だ。ステアリングに嫌な重たさはなく、操作性も良い。操船側の意思を繊細にキャッチしてくれるレスポンスは乗っていて本当に気持ちが良い。旋回性も抜群に高く、お洒落な見た目からは想像出来ない切れ味鋭いコーナーリングを楽しませてくれる。

豪快に波を切り裂きながら、水面をまるで自らに意思があるかの如く自由に駆け回る。そして、水面に浮かんだ優雅な姿で一瞬のうちに我々を魅了する。シーレイ410サンダンサーはその走りの自在性とポートステイにも適した居住性能の高さから、大人の遊び心を大いに満たす1艇だ。取材にご協力頂いたシーレイ日本総輸入元のアインスアリゾートでは国内でのシーレイ人気を誕生させた販売元として、これまでに多数の人気モデルを全国に販売している。そんなアインスアリゾートが今回お勧めしているのが、シーレイ410サンダンサーである。このポートはシーレイのスポーツヨットクラスに分類されるポートで、その名の通

りスポーティーな走りワンランク上の快適な乗り心地が楽しめるモデルである。操船して思った事はまず単純に反応が速いということ。ステアリングを左右に切っても、ポートが直ぐに船首を傾けてくれるため、乗っていても爽快な乗り心地が楽しめた。また、ポートの加速に関しても非常にスムーズで大きさに似合わずフットワークは軽い。シーレイは40フィートを越えてもどこかポートが良い意味で身軽だ。重いものを無理に動かしている感じは全くしない。そういう意味ではシーレイに乗る時は、この身軽で操作性の良い乗り味を是非体感して欲しいと思う。数値面に関しては、頂いた資料によるとエンジンの回転数が2500回



取材協力:アインスアリゾート株式会社 大阪府堺市堺区神南辺町四丁120-2 TEL 072-224-4040 URL <http://www.eins-a.jp/>
芦屋マリーナ 兵庫県芦屋市海洋町11番1号 TEL 0797-35-6662 URL <http://ashiya.marinajapan.jp>



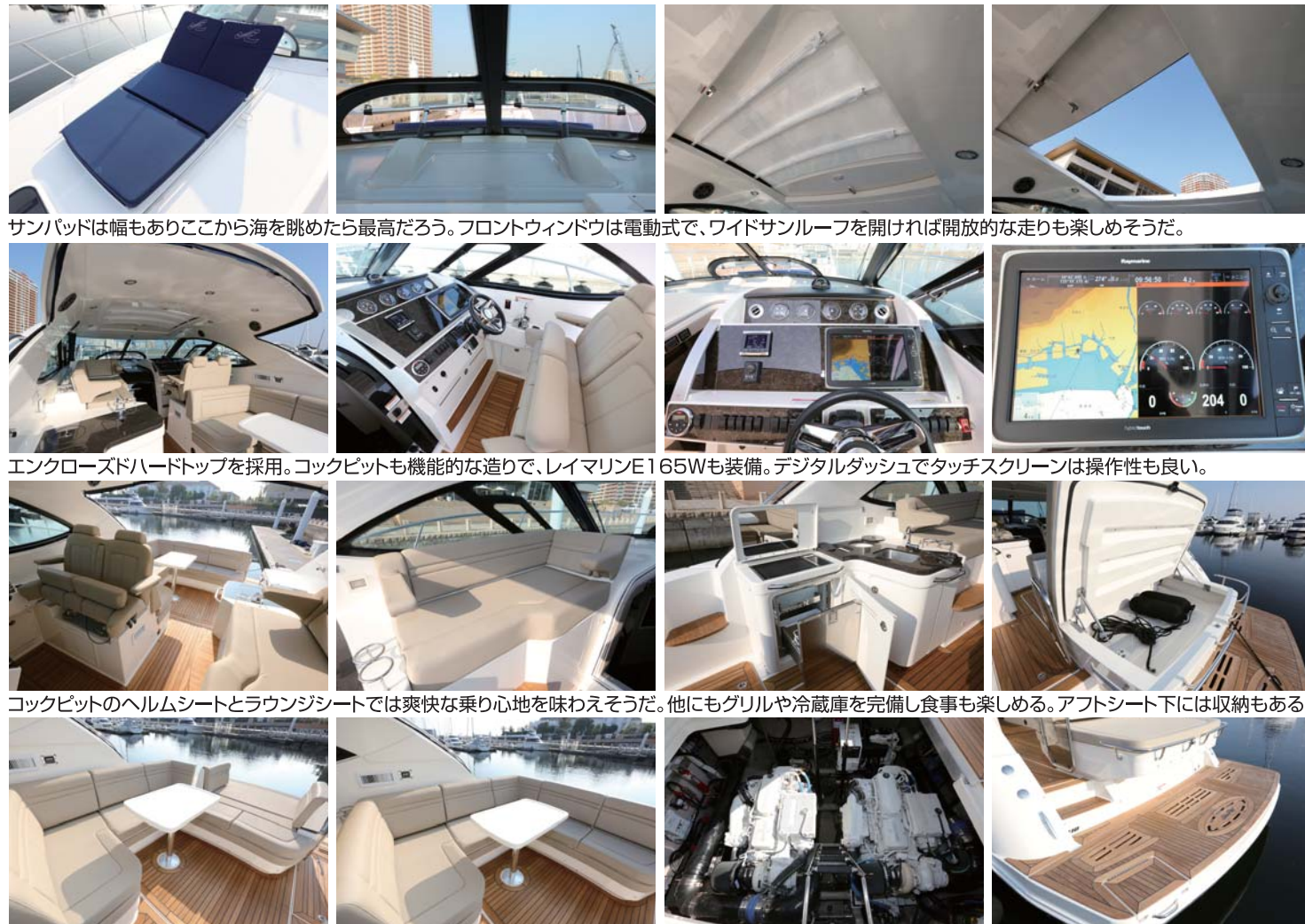
転で20.4ノットを記録。その際の燃料消費は106.1Lと良好な数値を記録している。また、最高速度は32ノットを超え、この時のエンジン回転数は3350回転、燃料消費は184Lとなっている。燃料容量が961Lもあるので、仲間とのロングクルージングにも十分対応出来るだろうし、近くをクルージングするなら上記の通り燃費性能も良いので、思い切り遊ばせてくれるだろう。ここまでは走りを中心に紹介しているが、やはりシーレイのもうひとつの魅力は何と言ってもその優雅なスタイルと洗練された内装にある。一言でいえば、浮いていても絵になる。静止安定性も高く、海のコンディションが荒れていない限りは安全な場所にポートをアンカリングし、船上でゆっくりとポートステイを楽しんでみるのも良い。シーレイは操船してなくても、乗っているだけでどこか胸がワクワクするような気分させてくれるのである。次にコックピットを紹介していこうと思うが、ここにはそれぞれの場所に魅力があり、自分



アフトエンクロージャーで長期保管にも便利!!



電動式のためリクライニングも簡単だ!!



サンパッドは幅もありここから海を眺めたら最高だろう。フロントウィンドウは電動式で、ワイドサンルーフを開ければ開放的な走りも楽しめそうだ。

エンクロードハードトップを採用。コックピットも機能的な造りで、レイマリンE165Wも装備。デジタルダッシュでタッチスクリーンは操作性も良い。

コックピットのヘルムシートとラウンジシートでは爽快な乗り心地を味わえそうだ。他にもグリルや冷蔵庫を完備し食事も楽しめる。アフトシート下には収納もある。

14 形状もアレンジ出来るアフトシートは仲間との歓談スペースに最適。エンジンは473hp×2基掛で力強い加速が楽しめる。スイムプラットフォームも広い。



キャビンで1番注目したのはフォワードステートルームにあるアイランドスタイルフルサイズベッド(電動式)だ。また、ここには専用のトイレ&シャワールームやテレビも備わり、まさに快適そのもの。サロンには座り心地の良いソファがあり、こちらでも寛げそう。ミッドパースもドア付きでプライベートな空間になっている。

のお気に入りの場所を探してみるのも面白い。オーナー目線であればやはりヘルムになるが、ここからの眺めは開放的で最高だ。また、操船を変わる時にはラウンジシートに座り全体を見渡して寛ぐのも良いだろう。このボートはエンクロードハードトップを採用しており、ボートに優しく包まれた空間には、それに似合う優雅な雰囲気が演出されている。操船中であっても船内での会話はともしやすく、クルージング中も仲間との楽しい会話の時間が楽しめそうだ。また、少し風を感じて走りたいたんかにはワイドサンルーフやフロントウィンドウを開けて走ると、これまでとは少し違った爽快感溢れる走りを楽しむ事が出来るだろう。そして、少し小腹が空いて調理が必要になってもコックピットにも十分な調理スペースと装備があるため、船上パーティーにも十分対応可能な1艇になっている。また、キャビンの中に足を踏み入ると、ここは少し落ち着いた空間となっていて、全体的に上品な雰囲気が演出されているため、まずは、サロンで食事や会話を楽しんでみるのも良いだろう。キャビンではフォワードステートルーム、サロン、ミッドパースをしっかりと分けるような空間造りがされており、それぞれがプライベートな時間を楽しめそうである。マスターステートルームには専用のトイレ&シャワーはもちろん、電動式のベッドは高級感もあり、どこか特別な気分を味わえそうだ。これならマリーナにボートを止めてマリーナステイを楽しむのも良いだろう。ゲストが多くてもツインタイプのベッドがあるミッドパースや本格調理も出来るギャレーを備えているので安心だ。仲間と語り合いながら週末をここで過ごす。それがどんなに贅沢なことか。これは是非多くの人に感じて頂きたい部分だ。全てのデザインが非常に洗練されており、ここに居るだけで特別な休日を過ごしている事を実感出来る。また、一つシーレイから注目の一艇が登場した。この良さは是非その目で確かめて頂きたい。